

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 30日

知事 大分県広瀬勝貞 殿

提出者 田染恭則
住 所 大分県中津市東浜332
氏 名 中津鋼管工業株式会社
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0979-22-7111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中津鋼管工業株式会社
事業場の所在地	大分県中津市東浜332
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉄鋼業
② 事業の規模	資本金100,000,000円
③ 従業員数	67名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製造概要、別紙1とおりの処理の工程

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
排 出 量	t	t	
① 現状	(これまでに実施した取組) 特になし 別紙3参照		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
排 出 量	t	t	
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし 別紙3参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	1種類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6152.25 t	t
	(これまでに実施した取組) 工程の見直しによる削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5845 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工程の見直しによる削減		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

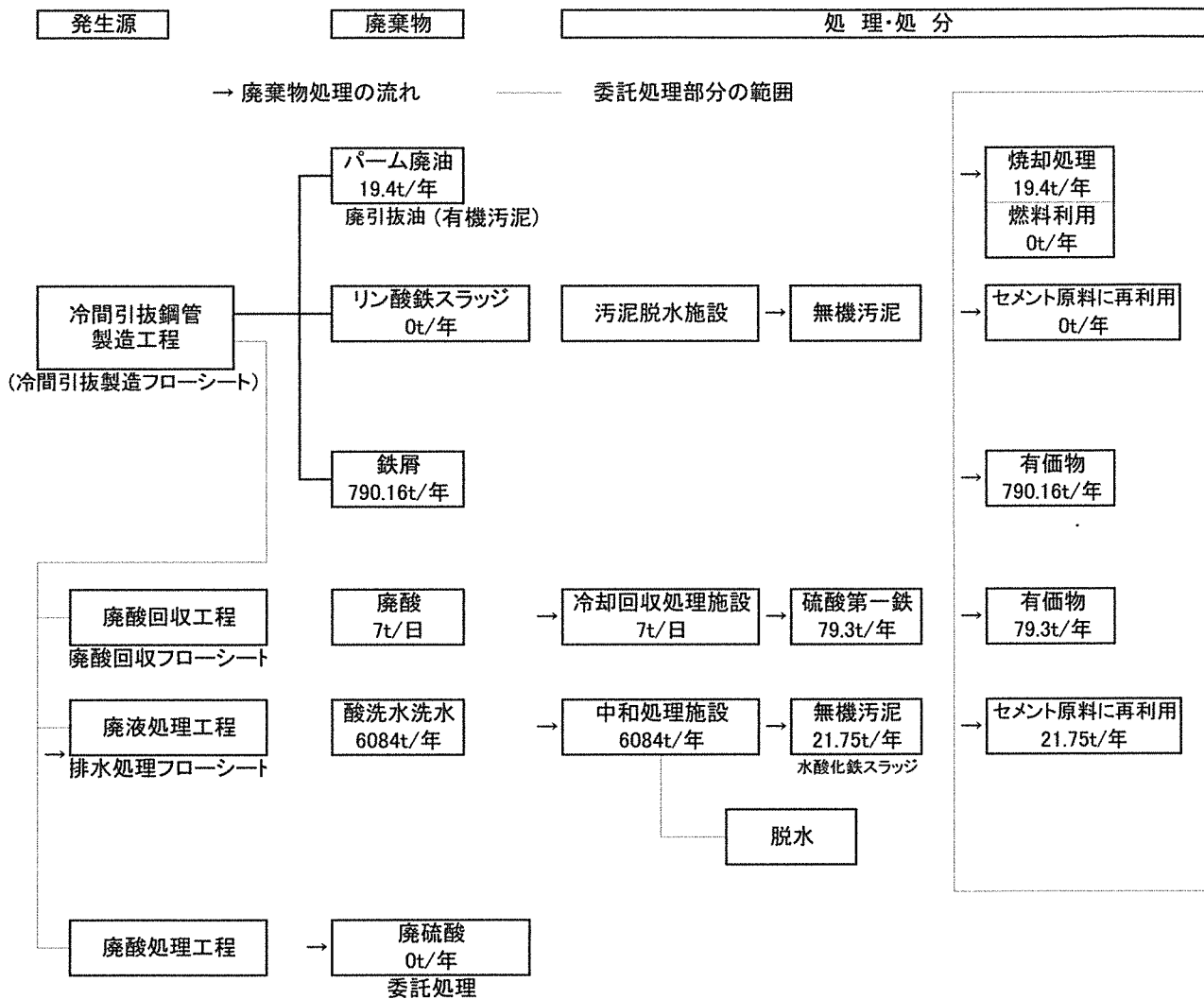
① 現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	4種類
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工程見直しによる削減		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4のとおり	4種類
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特になし			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理フローシート(現状)



製造概要

図1 冷間引抜鋼管製造フローシート

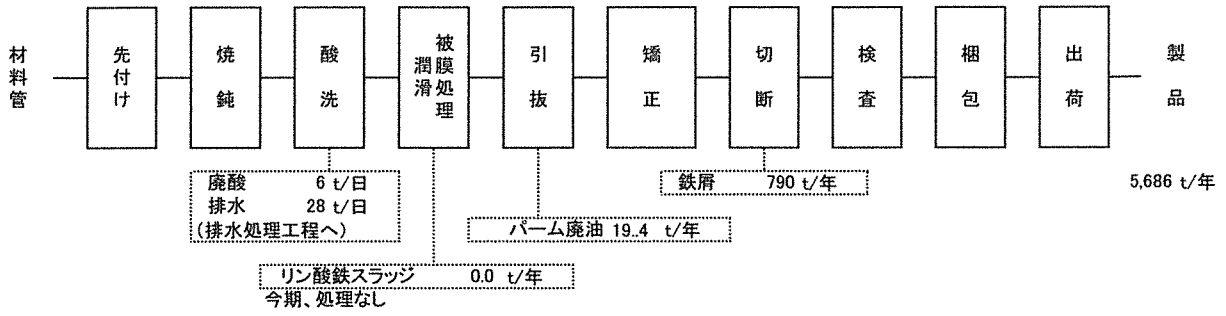


図2 廃酸回収フローシート

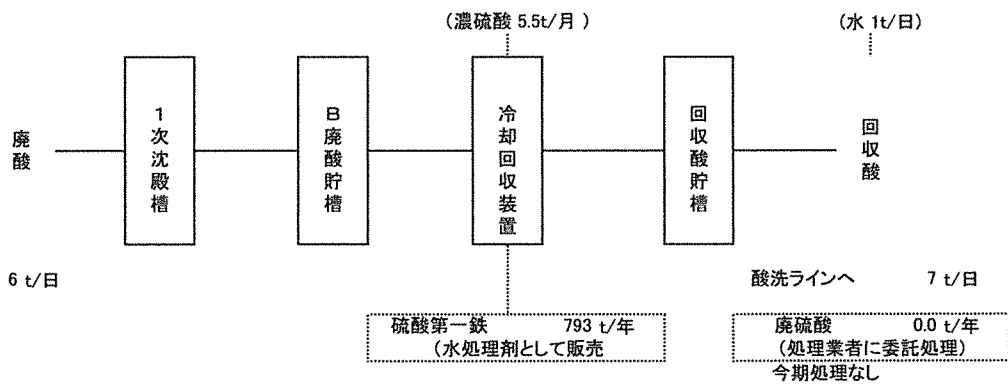
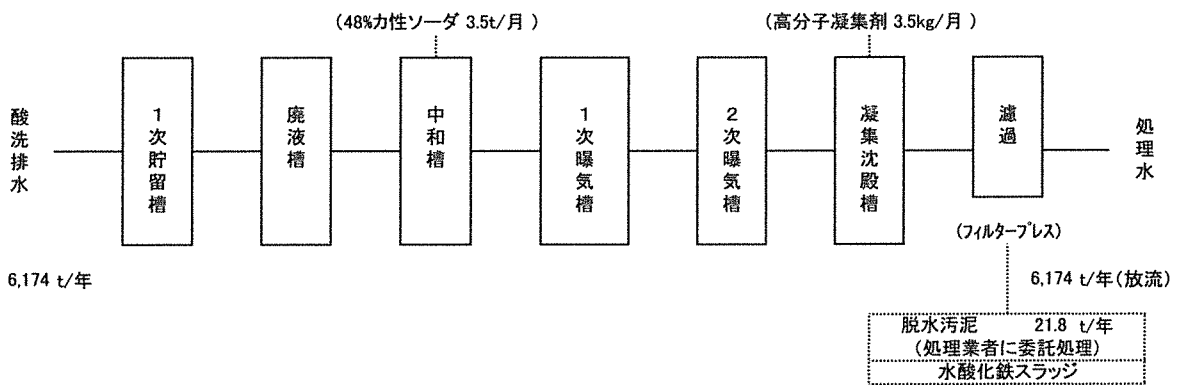


図3 排水処理フローシート

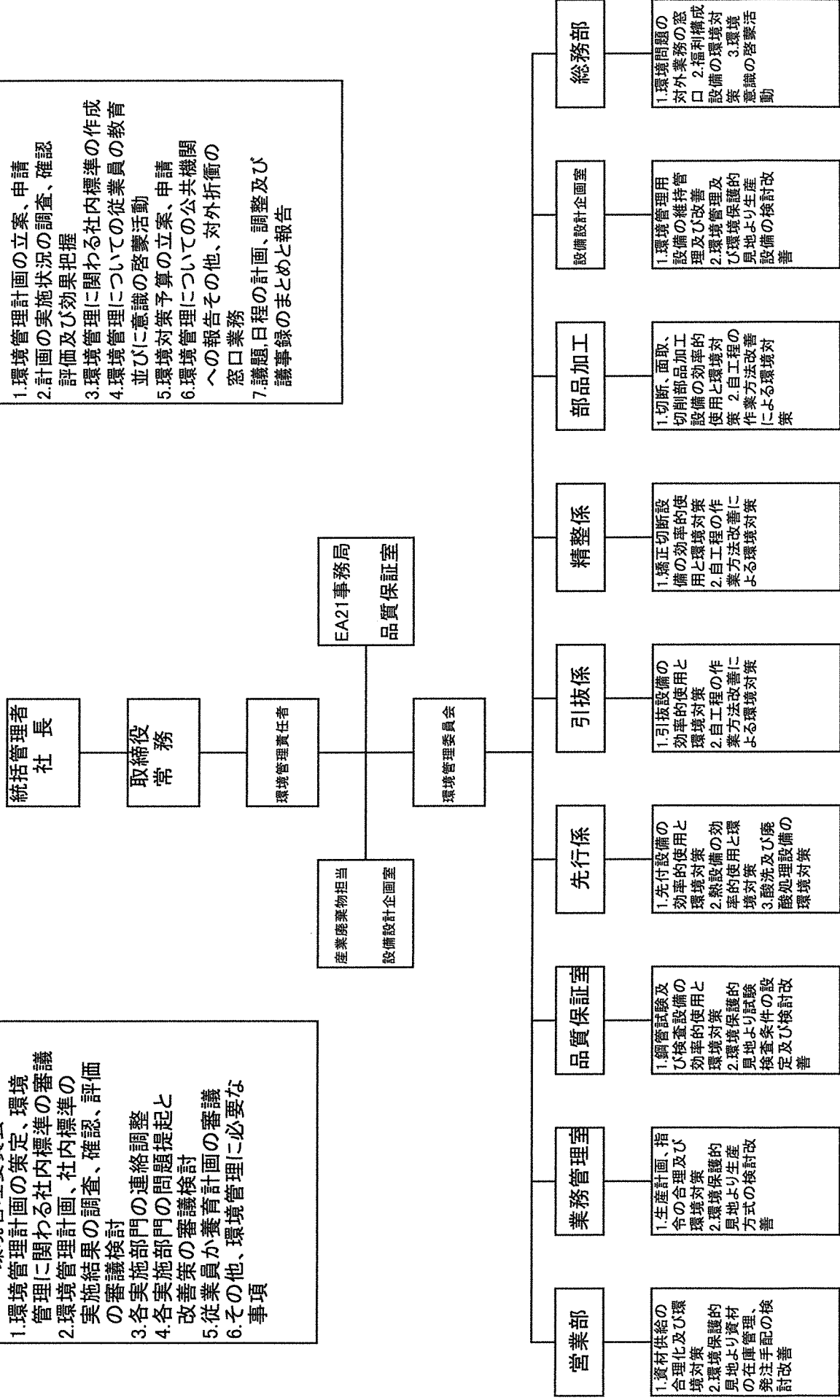


環境管理組織図

別紙2

環境管理委員会
 1. 環境管理計画の策定、環境管理に関わる社内標準の審議
 2. 環境管理計画、社内標準の実施結果の調査、確認、評価の審議検討
 3. 各実施部門の連絡調整
 4. 各実施部門の問題提起と改善策の審議検討
 5. 従業員が養育計画の審議
 6. その他、環境管理に必要な事項

1. 環境管理計画の立案、申請
 2. 計画の実施状況の調査、確認評価及び効果把握
 3. 環境管理に関わる社内標準の作成
 4. 環境管理についての従業員の教育並びに意識の啓蒙活動
 5. 環境対策予算の立案、申請
 6. 環境管理についての公共機関への報告その他、対外折衝の窓口業務
 7. 議題、日程の計画、調整及び議事録のまとめと報告



統括管理者
社長

取締役
常務

環境管理責任者

EA21事務局
品質保証室

環境管理委員会

産業廃棄物担当
設備設計企画室

営業部

1. 資材供給の合理化及び環境対策
 2. 環境保護的見地より資材の在庫管理、発注手配の検討改善

業務管理室

1. 生産計画、指令の合理及び環境対策
 2. 環境保護的見地より生産方式の検討改善

品質保証室

1. 鋼管試験及び検査設備の効率的使用と環境対策
 2. 環境保護的見地より試験検査条件の設定及び検査改善

先行係

1. 先付設備の効率的使用と環境対策
 2. 熱設備の効率的使用と環境対策
 3. 酸洗及び廃酸処理設備の環境対策

引抜係

1. 引抜設備の効率的使用と環境対策
 2. 自工程の作業方法改善による環境対策

精整係

1. 矯正切断設備の効率的使用と環境対策
 2. 自工程の作業方法改善による環境対策

部品加工

1. 切断、面取、切削部加工設備の効率的な使用と環境対策
 2. 自工程の作業方法改善による環境対策

設備設計企画室

1. 環境管理用設備の維持管理及び改善
 2. 環境管理及び環境保護的見地より生産設備の検討改善

総務部

1. 環境問題の対外業務の窓口
 2. 福利構成設備の環境対策
 3. 環境意識の啓蒙活動

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2021年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	全 体	パーム廃油	酸洗水洗水	スラッジ	汚泥	
	排 出 量	66221.00 t	19.40 t	6174t	0.55 t	2.53 t	t
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	全 体	パーム廃油	酸洗水洗水			
	排 出 量	629010.00 t	18.40 t	5,865.00 t	0.53 t	2.40 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2021年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2021年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	酸洗水洗水					
	自ら熟回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6140.53 t	t	t	t	t	t
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	酸洗水洗水					
	自ら熟回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6174.00 t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（2021年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	t	t	t	t	t	t	t
【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2021年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	全体	パーム廃油	水酸化鉄スラッジ	スラッジ	汚泥				
	全体処理委託量	44.23	t	21.75	t	2.53	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	22.48	t		t	2.53	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	21.75	t	21.75	t		t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	t		t		t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t		t		t	t	t	t

【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類	全体	パーム廃油	水酸化鉄スラッジ	スラッジ	汚泥				
	全体処理委託量	42	t	20.10	t	2.40	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	25.03	t		t		t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	29.30	t	29.30	t		t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t		t		t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t		t		t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。